

事業番号	09 04 01	事業改善シート (令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	H17 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業農村総合生産の約70%、(2,097億円/県全体2,983億円 平成30年県推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。
	【目指す姿】 マーケットインの生産を基本に、県内で育成されたオリジナル品種や本県の立地条件を活かした販売力の高い品目・品種の導入、拡大等を進めることにより、競争力の高い園芸産地を実現する。
	【実施内容】 ・生産流通コスト低減や付加価値の高い生産・供給体制の確立に向けた施設整備、新たな技術の現地への普及等に必要な機械等の導入を支援 ・スマート農業技術の効果を生産者が実感できるよう、生産者への「お試し導入」を実施

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	生産振興を目的とした研修会開催回数	回	31	47	↗	40	↘	40	達成
2	果樹戦略品目等の栽培面積	ha	2,390	2,534	↗	2,768	↗	2,626	達成
3	りんご高密度植・新しい化栽培面積	ha	358	520	↗	590	↗	647	未達成
4	夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	%	47.1	56.6	↗	52.0	↘	39.7	達成
5									

事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額	991,370	306,400	128,007
	当初予算額	1,188,832	1,053,504	1,579,334
	補正予算額	-284,588	-467,695	-254,767
	合計(A)	1,895,614	892,209	1,452,574
	うち一般財源	65,838	58,832	53,618
決算額(B)	1,572,252	703,633	388,380	
職員数(人)	3.1	3.1	3.1	

成果指標及び目標値の設定理由	1. 目指す競争力の高い園芸産地を実現するために開催する研修会の開催回数から設定 2. 県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 3. 県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 4. 生産者の経営安定と消費者への安定供給を確保する目標等として設定 ※目標値:野菜の産地強化計画をもとに設定
達成状況の分析	1. 品目ごとに生産振興に必要な研修会を効果的に開催したが、新型コロナウイルス対策で中止とした研修会もあった。 2. 技術者向け栽培技術講習会の実施や国庫事業等を活用した新植・改植等により果樹戦略品種の生産拡大が進んだ。 3. りんご高密度栽培の導入は着実に増加しているが、凍霜害の影響により投資意欲が減少し、未達成となった。 4. 市場流通における葉菜類は価格変動が大きい、価格が安定している契約取引の割合が増加し、農家所得の向上に繋がっている。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓マーケットニーズに応える競争力の高い信州農産物の生産振興 <ul style="list-style-type: none"> ・りんご早期多収・省力化栽培技術導入、県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催を支援 ・高品質で安定的な野菜産地構築に向けた新技術の実証ほ場設置、研修会開催を支援 ・主要花き類の需要期安定出荷栽培技術の確立を図る検討会開催を支援 ✓園芸作物の産地基幹施設等の整備を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生産コスト削減や高品質で付加価値の高い作物の生産・供給体制の確立のため、ぶどう棚や農業用パイプハウス等の整備を支援 ✓スマート園芸機器の「お試し導入」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある農業生産者がスマート農業機器の効果を実感できるよう「お試し導入」を実施し、県が購入した機器を生産者に貸し付け(4種類28台) 	 <p>「なし新品種検討会」</p>
	 <p>環境モニタリングシステム導入推進検討</p>	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	市場ニーズへの高い対応力や高品質・安定供給できる産地の構築、気候変動や高齢化に対応できる生産基盤の強化、脱炭素化時代やスマート農業技術に対応できる人材育成が必要。	園芸品目の分野ごとの特徴や気候を活かし、温暖化等に対応できる強靱な産地の構築に向けて、施設整備や機械導入、果樹戦略品種の新植・改植を推進する。 県オリジナル品種の高品質栽培技術等の普及促進に向けて、実証ほ場の設置や栽培マニュアルを整備。 スマート園芸機器の普及と農業生産への効率的な活用に向け、技術指導者向けに、施設園芸の体系的なスマート農業栽培セミナーを開催。

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	信州農業生産力強化対策事業	52,905 千円	45,044 千円	51,182 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援した。23団体	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	皆で取り組む園芸振興事業	3,105 千円	3,355 千円	3,105 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご新しい化栽培等早期多収・省力化栽培技術の導入推進を図るための、研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催等を支援。(研修会・検討会の開催13回)	
2	野菜の生産振興及び多品目化等実需者の求める野菜生産の推進	補助金	生産流通コストの低減、品質の向上を図り、地域の特徴を活かした安定的な野菜産地を構築するため、地域モデルほ場の設置、研修会の開催等を支援。(モデルほ場14か所、研修会・現地検討会の開催8回)	
3	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	キク類、カーネーション等の主要切花の需要期における安定出荷に向けた栽培技術の確立等を図るため、検討会の開催等を支援。(モデルほ場15か所、研修会・検討会の開催19回) 長野県花きイノベーション推進協議会と連携し、若年層に対し花き活用の拡大を推進するための花育活動を実施。(花育教室:28校、4,654名)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	園芸産地強化対策整備事業	1,510,083 千円	655,079 千円	333,905 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹の出荷施設整備等を支援した。8団体	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	スマート園芸体験事業	6,159 千円	155 千円	188 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	スマート農業技術の導入推進	直接	スマート農業技術の現地普及を加速化させるため、生産者が技術の効果を実感できるよう「お試し導入」を実施(4技術)	